

# 大類古墳群(入間郡毛呂山町)

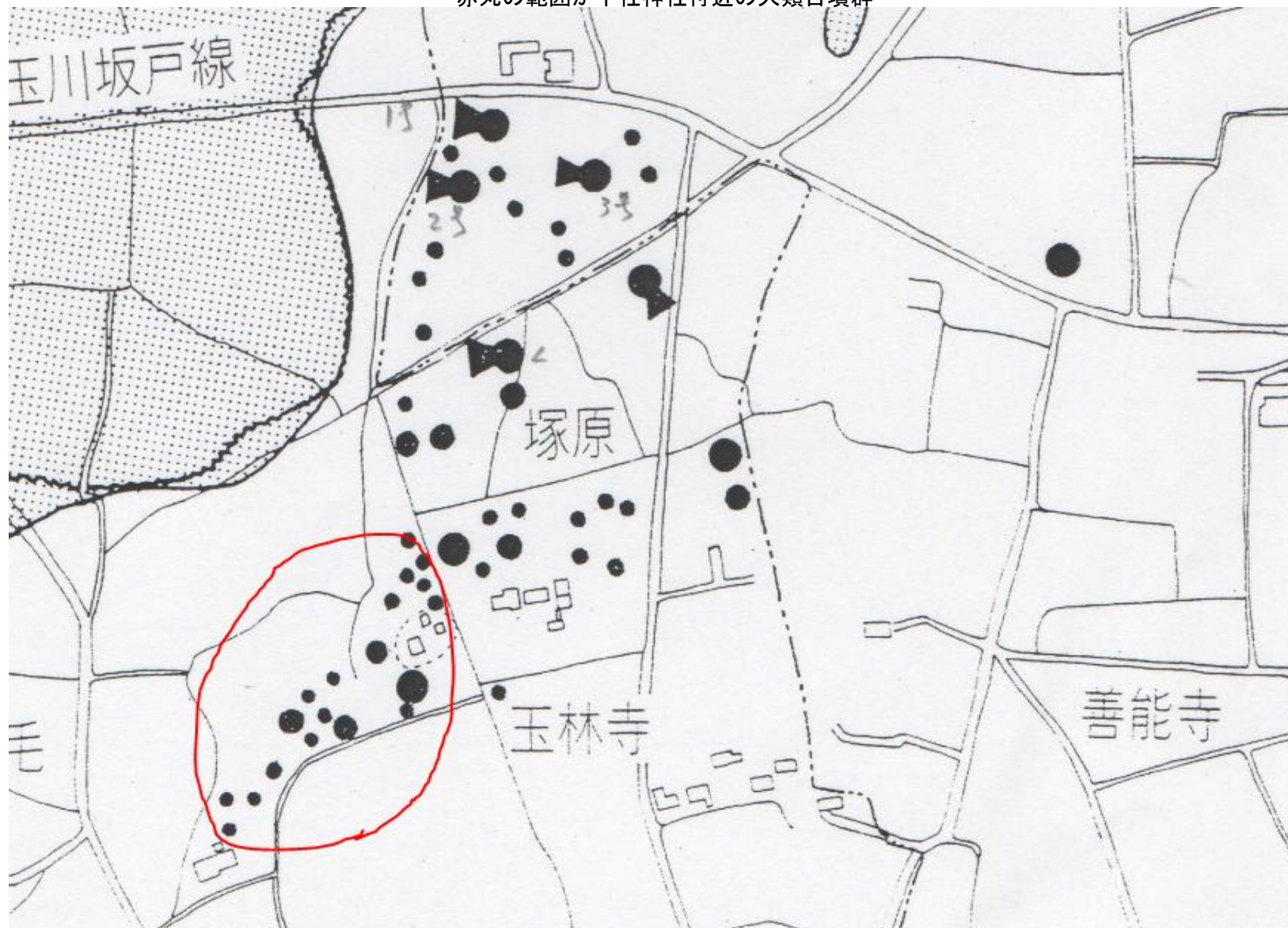
おおるい  
(十社神社付近)

6世紀末から7世紀を中心に築かれた群集墳

ここは十社(じゅっしゃ)神社



赤丸の範囲が十社神社付近の大類古墳群



大東文化大学オープンカレッジ/平成23年秋季講座/遺跡・古墳が語るわがまちの古代(坂戸・入間の古代史)の資料を利用



参道の左手に墳丘の裾が見える





それは25号墳であった/円墳/右手前方は集会所





ここで左手を見ると前方に27号墳が見えた/円墳





十社神社拝殿





奥が本殿





右手が拝殿、左手が本殿/本殿の左手(背後)に墳丘の裾が見える





社殿背後(北側)にはこのように18~22号墳が点在する/いずれも円墳





左手に目をやると幾つもの高まりが見てとれる





さて、この右手は集会所で前方の高まりが25号墳/円墳





集会所のすぐ裏手(西側)には24号墳がある/墳丘の裾が見える





北側から見た24号墳/円墳/左手が集会所





少し退いて南西側から集会所方向を見る/集会所左手近くが24号墳、右手は25号墳





更に右手に目をやると27号墳/円墳





さて、これは十社神社の左手(西側)にある南北に通る道路/右手が十社神社





この左手にも更に28~40号墳があるようだ/いずれも円墳/正面は28号墳か





左手を見る/正面向こうに円墳が見える/30号墳か





左手の道は十社神社の鳥居の前を東西に通る道路で、ここは鳥居から少し西に来たところ/右手の高まりは31号墳/円墳





31号墳の西側にある小道に踏み込む





すると左手に34号墳がある/円墳





他にもいくつも古墳がある













これらが28～40号墳のようだ





(十社神社東側)

さて、十社神社の右手(東側)にある道路の更に東側にも古墳が二基あるらしい/ここの木々の中にあるようだ/この道路の向こう側





赤丸の範囲が十社神社東側の大類古墳群





竹林の前方に高まりが見える





明らかに古墳(円墳)である/墳頂に祠がある/6号墳





そこから右手(南方向)を見ると前方にも高まりがある





これも古墳/円墳/7号墳





(十社神社北側)

さて、十社神社の裏手に当たる北側へ回って見てみよう/前方の木々の向こうが十社神社





これは十社神社の北側を北西側から見たところ/右手に高まりがある





赤丸の範囲が十社神社北側の大類古墳群





すぐ手前と、やや左手奥にも古墳がある/円墳





これは手前の古墳/3号墳/北側から見たところ





南側から見たところ





これは奥に見えた古墳/5号墳のようだ/北側から見る





西側から見たところ





振り返って西側を見ると、すぐそこにも高まりがある





4号墳かもしれない/円墳/北側から見たところ





更にその少し東側にある古墳/円墳/14号墳/北側から見たところ/左手には南方向へ向かう小道がある





その墳丘の右手を見たところ





境丘を東側から見る/小道が左手(南方向)に延びている





南東側から見たところ/右手遠方には先ほど見て来た円墳が二つ見える





そして、そこから東側に目をやるとこちらにも高まりがある/円墳/13号墳





東側から見たところ





その墳頂に登って西方向を見たところ/正面に先ほどの14号墳が見える





右手に目をやると見て来た古墳が点在している





先程あった南方向へ向かう小道を進み、木々の中を見てもよい/右手は14号墳





少し進むとすぐ左手に古墳があった/正面の高まり/円墳/15号墳





その左手の中に少し入ってみるといくつか高まりが確認できる/東方向に見たところ





こんな感じ/8~12号墳が点在するようだ





さて、小道に戻り、今度は右手方向を見てみると、やはりこちらにも古墳がある/円墳/17号墳





(最初にも見た十社神社のすぐ背後にあった古墳をもう一度見る)

さて、この道は先程の小道と並行して少し西側にある十社神社へ向かう道/前方は十社神社のある南方向





少し進むと左手にすぐ先程見た17号墳が見えた





さて、右手を見るとこちらにも高まりが点在している/18号墳もしくは19号墳か





その右手の中に入って南方向を見ると、いくつもの高まりがあり、その向こうに十社神社社殿が見える/右手前方が22号墳でその左手が21号墳か/手前の高まりは20号墳のようだ





南方向へ少し進んで見たところ/いずれも円墳/正面が22号墳でやや左前方が21号墳か





22号墳と思われる高まりを西側から見たところ





進んできたところを南側から振り返って見たところ/これらは18~22号墳らしい





十社神社社殿のところで道を振り返って北方向を見たところ/左手が十社神社背後で18～22号墳があったところ





(大類1号墳(観音塚古墳))

さて、これは北側の坂戸市エリア近くにある民家脇の1号墳(観音塚古墳)/前方後円墳/毛呂山町指定史跡





赤丸のところが1号墳(観音塚古墳)





「くびれ」の辺りには石碑と説明板が立つ





墳丘の法面を前方部から後円部にかけて見る





墳頂で前方部から後円部を見る





この辺り一帯は苦林野古戦場として埼玉県の旧跡になっている



埼玉県指定旧跡

## 苦林野古戦場

この付近は古墳が多く、俗称塚原と呼ばれる苦林古墳群の分布地である。この前方後円墳もそのうちのひとつで毛呂山町指定文化財になっている。

このあたり一帯は（海軍五十八年）（北朝九十二年）（一説に）（正平十三年）六月、鎌倉公方足利基氏の軍勢三千餘騎と前越後国守護畠山氏道禪可の軍勢八百餘騎とが激突した古戦場である。太平記に「小塚の上に打ち上りて」とある小塚はこの古墳であつたかもしれない。あまりの激戦で多数の戦死者が出たので、後世文化十年戦死者の霊を弔う追悼碑が後円部の墳丘上に建てられた。又文明九年にも太田道灌と長尾景春の部将矢野兵庫助とがこの付近で戦った。

昭和五十七年十月

毛呂山町教育委員会



墳頂に立つ石碑





後円部の墳頂に苦林野合戦を供養した江戸時代の石仏(十一面千手観音)がある









後円部から前方部を見る





後円部を北側から見る





(大類2号墳)

これは1号墳の西側にある2号墳/前方後円墳/この背後の木々の辺りは3～5号墳があったところ





赤丸のところが2号墳





赤で囲んだ範囲は塚原古墳群のエリア(坂戸市)/道を挟んでその下側が今回調査した大類古墳群のエリア



なお、上記の塚原古墳群(坂戸市)と毛呂山町の大類古墳群とは一体のものであり、行政区分上、別名が付いているだけで、苦林古墳群(総称)を構成している



参考ホームページ

<http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/category/saitama/moroyama/>

